

進捗状況の概要

平成 27 年度の事業実施計画及び実施状況は以下のとおりである。一部内容を変更して実施したものがあつたが、概ね計画どおり実施することができた。

【事業実施計画・実施状況】

①ティーチング・ポートフォリオの開発

前年度に検討したシステムの仕様を踏まえ、平成 28 年度運用開始に向けたシステム開発を完了することができた。

②学修支援の強化

学生の主体的な学びと学修時間を確保するために、ラーニング・コモンズ内に常駐の専任教員 2 名、非常勤教員 2 名、事務補佐員 4 名（シフト制のため実質 2 名）を配置し、学修支援の強化につとめた。

③卒業生調査の実施

平成 24 年度全卒業生（平成 25 年 3 月卒業）1,427 名に対し、本学が策定した教育目標と本事業によるラーニング・アウトカムの関係を中心にした卒業生調査を実施した。

④学修成果の確認と指導

当初の計画では、学期ごとに全担任が学生ポートフォリオの入力内容をもとに、全学生との面談を実施する予定であつたが、面談時間と場所確保の問題から、学期ごとではなく年度に 1 回行うことに変更し、10 月～12 月にかけて実施した。

⑤アクティブ・ラーニング・ワークショップの開催

12 月 15 日に「『授業を通して修得できる力』から考えるアクティブ・ラーニング」、1 月 15 日には「学生が学び合う授業づくりとアクティブ・ラーニング」というテーマでワークショップを開催し、それぞれ 10 名が参加した。さらに、2 月 24 日に「反転授業を組み合わせたアクティブ・ラーニングの取組」と題した講演会及び「反転授業の取組み方」をテーマにしたワークショップ、本学 8 学部
のアクティブ・ラーニング実践報告を行い、190 名が参加した。

⑥ルーブリック・ワークショップの開催

2 月 24 日に「ルーブリック指標による評価の意義と手順」をテーマにしたワークショップを開催し、11 名が参加した。

⑦ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップの開催

まず学内でメンターを育成し、そのメンターを中心に活用方法を広げていくこととなつたため、平成 27 年度は対象を全教員ではなく、メンター候補者に変更し、ワークショップを開催した。

⑧アクティブ・ラーニングに関する教員調査の実施

アクティブ・ラーニングの実施状況、内容、成果等について、学内の全教員を対象に調査を実施した。

⑨シンポジウム開催と報告書の発行

単独で開催する予定であつたが、参加者の利便性や波及効果という観点から平成 28 年 2 月 22 日に長崎大学、大阪府立大学と本学による 3 大学合同フォーラムとして本学で開催し、約 230 名が参加した。また、平成 27 年度の事業報告書を発行し、全国の国公立大学や関係機関に送付した。

⑩外部評価の実施

「教育再生加速事業評価委員会」において、平成 27 年度の取組みに関する評価を実施した。

⑪学修成果の可視化に向けたジェネリックスキル測定テストの実施

全学部 3 年生のうち 517 名が、学校法人河合塾と株式会社リアセックが共同開発した PROG (Progress Report On Generic) テストを平成 28 年の 2 月～3 月に受験した。テスト実施結果の全体集計データにより、「玉川大学生の全国学生平均に対するポジション」、「リテラシー総合の状況」、「コンピテンシー総合の状況」について、学生の傾向を把握することができた。